

風月の芸術祭 in 白河

過去の取り組み紹介

ピエンナーレはイタリア語で「隔年(2年に1度)に開催されるアートの展覧会」という意味があります。本市では令和2年と4年に開催されました。
今回は過去の取り組みを振り返ります。

令和2年

まちなかでの作品展示のほか、切り絵作家の福井利佐氏によるオンラインでの切り絵ワークショップや、AR技術による展示など、コロナ禍でもデジタル技術を活用し開催しました。



▲切り絵ワークショップ

令和4年

アニメーションディレクターの伊藤有孝氏と高校生によるワークショップや上映会(写真①)、現代アーティストの小松美羽氏によるライブペインティング(写真②)など、対面形式で開催することができました。



▲写真②

▲写真①

今年も、多くの方にアトに触れてもらえるよう魅力的な取り組みを企画しています。たくさんのお待ちしています。

問 文化振興課 内2341



高齢者 Vol.62 あったか広場

問 高齢福祉課高齢者支援係 ☎ 285519

認知症のほとんどを占める三大認知症

認知症には原因となる疾患によっていくつか種類があります。その中でアルツハイマー型認知症が約68%、血管性認知症が約20%、レビー小体型認知症が約4%を占め、この3種類で全体の約92%を占めています。

その他の約8%は、病気やけがが原因となって引き起こされる認知症です。これらには、治療で治る可能性があるものも含まれています。

治る可能性がある認知症

- 正常圧水頭症を原因とする認知症
脳脊髄液が脳室に過剰にたまり、脳を圧迫します。歩行障害・尿失禁が現れるのが特徴です。
- 慢性硬膜下血腫を原因とする認知症
頭をぶつけた時など、頭蓋骨と脳の間には血の塊ができ脳を圧迫します。圧迫され1ヶ月ほどしてから、頭痛・不全麻痺・歩行障害が現れるのが特徴です。
- その他
脳腫瘍・甲状腺機能低下症・栄養障害・薬物・アルコールを原因とする認知症です。

早期に適切な治療を受ければ、症状が改善する可能性があります。原因や特徴を理解しておきましょう。

